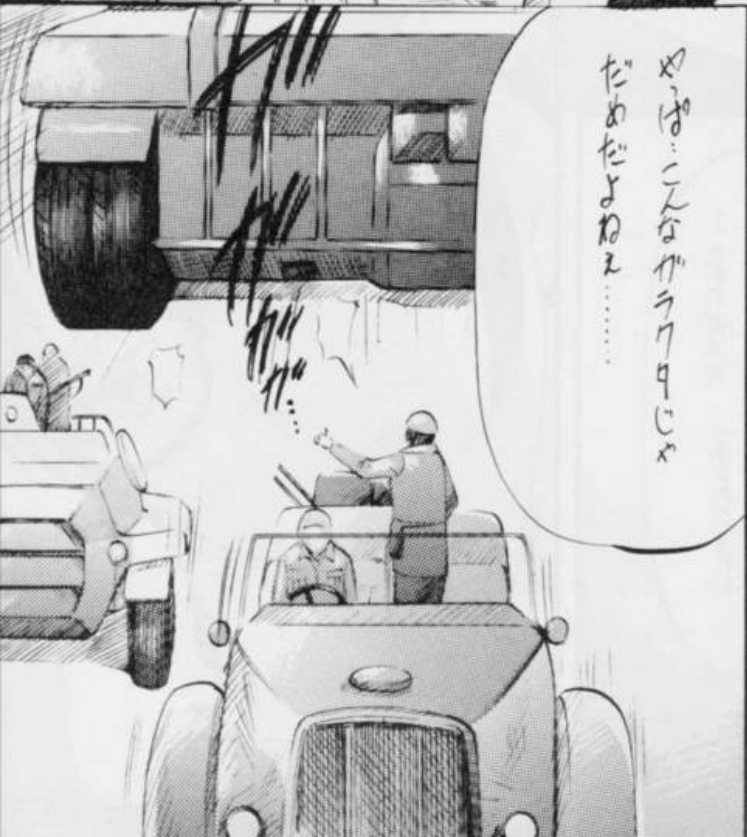




mari

hokan -

keikaku



やほ…こんなカラウワロじゃ
だめだよねえ……



…ふう……

…こころ外あ……



…あの赤いヤツ…
目を付けたの……

なんでも日本なんかには
持っていないぢやうかなア……



…あの向こう…あんなまよひ
行けば…遠くた景色は
見られるよ

思ってたの……



……

「

第 零 話

終わった世界の

向こう側。」

聞かせんかえんを
いこ思だうのたれ...

...えちえち
反省の舟のうらら

ネオ
我々の最高機密を
勝手に持ち出したことに
対し...

えれこそ何かね
No5

んん!!

何か正当な理由はあつと
びもさうのわね





どうやら君は、自分が
特別な存在だと勘違い
しているようだ



…なるほど…



…いいじゃない…
アレ…アホシのなんだから



よこに集められんか、
女はや生をる者に味をええ
見失いながら、た屍のような
座中とお

ん…ん…



エロイに乗れろと
言えよ…我々にと、んけ
何も変わらんのだよ

ん…

おの娘に… あん
…!!

皆、戦うことを放棄し、
之レフによつて、抹殺された
者たちだ……。お互い、
体を慰めあうにけ
格好の相手だらう

は、だめ、

痛、

自分の間、その奥で
着ろすこに何人かだ……
仲良し〜おあをなさい



ああ、何れ……
え、え、え……

ああ？

ああ？

や？



はあうう

まさかこの群衆の中に

ふあ

はははは

ぬぬ

ふや

おげんきなされた
おたはは



んふうう

肉体を貪られ
続けるんだマア...

こんな大勢に
これか何日か

あ

ぬぬ

ぬぬ

ぬぬ



あああ

はあ

ああ...ん...ああ
早...



ああ...ん...ああ
...奥まで

はあ

あああ



はぁ...はぁ...

あア

あ...あ...

大...!!

あ...こんな...
線...アウ...
死...も...

あ...

だめ...こんな
は...ん



あ...
は...

このまま...あ痛と
快楽にまわれん
死ぬのも





あああ...
あまん...

あああ...
あまん...

あまん...
あまん...

あああ...
あまん...

下子



ふあは

あは

んんん



アレに乗れば…
夫の気持ちとイイ思ハ
出来らんかナリ…

…何を…アツシ
まだ生えらんた…

…ま…いハ…
これとまたアレに
乗らんかナリ…

…使徒…第二防衛線
突破…



間もなくジオフロントに
到達します



お前…この前のメッカリ
強…んだらうね…

汎用ヒト和土決戦兵器
エウアイゲリオニヒコ機 (改)

お前



…ええじや…
…イリや…!!



今度…え…アヲヲを
絶頂に導いてくれる人
だらうね…

本当に我々の知らないエヴァが始まる。突如出現したカヲル。えいし「マー76」。
覚醒する初号機。…この「終わりゆく世界」の中で、今度こそシンジは希望の光をつかむ
ことが出来るのだろうか。

～マリ～

宣伝用ポスターに発表された直後からファンの興味を一身に集めたであろう
“謎のメガネっ娘” “メガネで巨乳で絶対領域”… 男性ファンに媚びているとそ
とられかねないほどこに詰め込まれた記号。反則技とモとれるこのデザインは、劇場版と
言う短いスパンでファンに“マリ”と言うキャラクターを強く印象づけるための措置なのだろう。
案の定と言いましようか… パラシュートでの降下に失敗。その時シンジに覆い被さり、
シンジの顔に“オッパイキミ”… えして干なりと覗かせた絶対領域と言う、“お約束”な
シーンの連続。えいし、顔を見たらまず先に目に飛び込んで来るあの“赤Tでメガネ”
… “メガネ=地味なキャラ”と言うイメージも今は昔。一昔前は“ラムネ40”の
コアのように“メガネを外すと美少女に変身”と言うコンセプトがほとんどでした。が、
今はもう、メガネを外すと、カリキ民権を得るようぜ… スターの方もその辺はよく分かっ
て、マリにどれだけ激しい戦いを繰り広げようぜ、ヘルメットが砕けようぜと決して
メガネを外れることばかりありません(笑)。かく言う私もメガネ好き。 マリを見た瞬間、
“メガネキター!” と心の中心叫びました。

えいし… このマリと言うキャラクター… あの独特なプラグスーツ着、えいし彼女が
塔乗することになるであろう。あの異形の姿をしたエヴァ(仮設)と号機… 公開前に
発表された情報はこれくらい。どんな活躍をするのかは想像に頼る(かな)た
のせすが… 正直、劇場版での彼女の姿は、いい意味で私の想像を裏切っ
ました…。 大方向の予想を覆し、幕開けと同時に使徒との凄じい戦い。えいしと号機は
使徒を道連れに爆破四散…。 あの、話題性持ちきりとなったと号機、えいし
ファギアメーカにこぼれ立体化したあのタイプ絶対のプラグスーツは、おすか5分
足らずでお役御免…。 えいし、プラグスーツは新たなプラグスーツで、なんとアスカの
代わりに式号機が登場…(!)と出番は少ないながら、いかに意味をファンに強烈な印象を
与えてくれました。ただ… 私個人的に印象に残ったのは、ラスト近く、エヴァに乗ることを拒絶
したシンジを再び戦場に導いたの心、ミサトも加持心をなく、彼女たち… という場面は興味
深いところ。エヴァに乗ることを当然の義務のように受け入れているマリ。彼女は今後、シンジ達と
どう関わっていくか… 楽しみ所です。

(注)… マニカに聞けば、もう資料がないに等しく、ほこりご想像で描いています。
イギリス出身の彼女がなぜドットで建造された式号機の存在や性能を知っているのか? とか
新プラグスーツの作りかとか… 今後、続編やDVD、ブックなどの発売により、今回のマニカの
相違点が出てくるかと思っております。どうかご了承下さい。

発行 太陽出版株式会社
発行日 09年8月30日
著 神無月かんた (武装女神)

busou-megami

